みはら情景 わたしの想い出 ⑲ 久井の牛市

お祭り騒ぎの交易の場

▲牛市の開催時には、仮設の小屋が建てられた

▲牛市のにぎわいを再現する、久井ウッシッシ祭

久井町で伝統的に開催されていた牛市は、当時の人々にとって、一年に何回かの盛大な催しでした。「牛市が始まると学校から走って帰るほど、お祭り気分でうきうきしていました。いつもは静かな農村に、突然たくさんの人や牛が集まりはじめ、稲生神社の参道には露天商が並びました。サーカスやへび使いの見物など、めずらしい遊びがとても楽しかったです」と子どもの頃の想い出を語るのは、久井町江木に在住の門田義道さん。

門田さんの自宅は、ふだんは農家でしたが、牛市の開催時には、牛馬商の宿となっていました。市が始まる前の準備にも余念がなく、特別に料理を作ったり、障子や畳を新しくしたり、牛を入れるための仮設小屋を作ったりして、多いときは、60～70人の牛馬商が泊まっていました。また牛は200頭ほどもいて、井戸の水がなくなってしまうこともありました。

「牛市は、多くの人と交流ができる機会でもありました。今は少子化の時代ですが、子ども同士の交流ができる機会を増やしてあげたいですね」と語ってくれました。

門田　義道さん
（久井町江木）
「江木地区には、競馬場もあったんですよ」

久井の牛市は、昭和30年頃に幕を閉じてしまいましたが、かつてのにぎわいを再現しようと平成11年から、久井ウッシッシ祭が開催されています。今年は第6回目で、今月15日に開催されます。

市民憲章

わたしたちは、海・山・空　夢ひらくまち三原をめざして、この憲章を定めます。

一　豊かな自然をいかし、美しいまちにしましょう。
一　歴史と文化を大切にし、人をはぐくむまちにしましょう。
一　みんなで助け合い、人がふれあうまちにしましょう。
一　心もからだも健康で、明るいまちにしましょう。
一　楽しく働き、活力あるまちにしましょう。

優良従業員の表彰

表彰対象者　同一事業所に引き続き5年、10年、20年、30年勤務していて、勤務成績が優秀な人

表彰式　11月22日(水) リージョンプラザ　文化ホール

申し込み　20日(金) までに、商工振興課（☎0848-67-6072 FAX0848-64-4103）、または三原商工会議所、本郷・久井・大和町の各商工会で用紙を受け取り、いずれかへ。

税の納期

◎市県民税普通徴収（第3期）
◎国民健康保険税（第4期）
◎介護保険料普通徴収（第4期）
納期限　10月31日(火)
※税金・保険料は納期限までに納めましょう。

あ・と・が・き

先日、三原小学校のたこつぼ漁の体験学習を取材したときのこと。波で揺れる船に、船酔いの心配をしていた取材陣とは対照的に子どもたちは大喜び！たこつぼの投入では、約5kgのたこつぼを、楽々と次から次へと投げ込む元気のよさにびっくり！たこつぼ漁の見学では、引き上げられるつぼを、じっと見つめ、たこの登場に大歓声！直接触ってみる体験では、恐る恐る手をのばすと：吸盤が腕にひっついて、これまた大騒ぎ！その都度、「いい笑顔だ」とカメラを構えるが、揺れる！どうしよう!?船上での写真の難しさを実感。にぎやかで楽しそうな学びの横で、海の厳しさを学びました▼さて、学ぶといえば、今月は、生涯学習フェスティバルがあります。市民一人ひとりが打ち込んでいる講座や教室の成果を、市内各所で発表しますよ。充実の秋、お楽しみに!!

（ひろぞう）

三原市の人口

（8月31日現在）

世帯数	43,343世帯	(＋583)
人　口	105,353人	(－270)
男	50,537人	(－ 25)
女	54,816人	(－245)

（　）内は前年同月との比較

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。

編集・発行／三原市秘書広報課（〒723-8601　広島県三原市港町三丁目5番1号　☎0848-67-6007）　毎月1日発行
「広報みはら」は市役所1階ロビーと各支所、サン・シープラザとうきしろロビーの窓口にも備えています。また、点字版や録音テープの「広報みはら」も発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。